

☆Cha Cha Cha☆

研究通信 No. 22
令和5年10月13日(金)
文責：古谷

第2回実践記録お世話になります！

第2学年 生活科 「せかいてひとつわたしのおもちゃ」

2年2組 担任 古谷 一馬

1つの前提：終末に児童につぶやかしたい言葉

・おもちゃってざいりょうをくふうしたり、つくり方をくふうすればかっこよく（もっとよく）なるんだね！

視点①：質の高いめあての設定

① ①見た目が同じおもちゃを2種類用意する。
②実際に飛ばして、違いに気付かせる。
(子どもにもさせて、本当に違いがあることを知る)

「よりよいおもちゃにするためにはどうしたらいいだろうか？」

② 「同じ紙コップなのにどうして飛ばす高さに違いがあるのだろうか。なんかマジックみたいでおもしろいなぞが知りたい!!」

視点②：思考をゆさぶる発問・活動の設定

① 「同じ紙コップ・わゴムなのにどうして高さのちがいが出たのでしょうか。」

【子どもの思考をゆさぶるための活動】
①実物を触ってペア・全体で話し合い
②自分のおもちゃで工夫をさがす

「自分たちのおもちゃで何かくふうができないかな」
【ゆさぶり発問】

【実際につぶやいた言葉】

C:「磁石の数を増やしたら魚が釣れやすくなるかもしれない。」
C:「わゴムはゆるむから、新しいものや本数を増やす工夫をしたい」(○)
C:「工夫するといっぱいとんだ!工夫することが大事だ!」(○)

☆わたしのこだわりポイント☆

・学校にある捨てられそうな物を再利用しておもちゃの材料にする。(SDGsの観点)
・全員の手が空がるような導入の工夫(教員・教員の工夫)

①教科ごとで色を変更

→今回は、教科がたくさんあるので見やすいように色を変える。

②つぶやかしたい言葉は1つ

→1つにしぼることで、本時の学習で身に付けさせたいことを明確にする。

★視点1：質の高いめあて

→めあての設定までにどんな工夫をしたのか明確に示しましょう！

★視点2：ゆさぶり発問・活動

→子どもの思考をゆさぶるものであるのか、教員のコーディネートもここで分かります！

③写真の更新

→先生方の写真は子どもたちにも好評です。ぜひ、更新を！！

10月に伝えたいこと(子ども ver.)

プラトー現象



何かと問題が起きる10月です。一生懸命努力している子に目を向けるために私は、「プラトー現象」を伝え、努力の大切さを一緒に考えたいです。

実践記録にまとめる意味・目的は？

- 1 自分自身の授業の振り返り
 - 2 研究の視点に沿った授業展開
 - 3 子どもを中心に据える意識
 - 4 学校内外での共有ができる などなど
- まとめる良さはたくさんあります。他の先生の実践が気になりますね！

